（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターパステル　単位1			
○保護者評価実施期間	令和7年4月21日		～	令和7年5月20日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	26名	（回答者数）	13名
○従業者評価実施期間	令和7年4月14日		～	令和7年5月10日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6名	（回答者数）	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう、立案をチームで行っています。	リーダーを中心に様々な活動を提供できるよう、スタッフ間で作業療法士や言語聴覚士などの専門職も交えながらミーティングを行っています。また、中高生や小学生向けなど活動も曜日で分けし、年齢にあった活動の提供を行っています。	個別や小団体など、バリエーションを増やしながら活動を充実させていきたいです。
2	バリアフリーで広々とした場所で活動を行っています。	児童が落ち着かないときは、個室などをうまく活用し児童の特性に合わせた場所の提供を行っています。	雨天時での活動内容の充実を図っていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の配置数は適切か	基準人員は適切に配置していますが、保護者の方へは送迎するスタッフしか顔を覚えていないと考えられます。	保護者同士や職員との交流機会を増やし、保護者の方々が安心して通っていただけるよう取り組んでいきます。
2	地域の保育所や認定こども園との交流	福祉まつりには参加しているが、新型コロナウイルス以降なかなか地域の保育園との交流もやりづらく状況です。	感染症は気になるところだが、方法を検討し今後交流機会の場を検討していきます。
3			